

第1回鬼怒川堤防調査委員会
議事要旨<速報版>

1. 日時 :平成 27 年 9 月 28 日(月)10:00～12:00
2. 場所 :さいたま新都心合同庁舎 2 号館 5 階共用中会議室 503
3. 出席者 :
委員長
安田 進(東京電機大学理工学部教授)
委員
池田 裕一(宇都宮大学大学院教授)
佐々木 哲也(国立研究開発法人土木研究所上席研究員)
清水 義彦(群馬大学大学院理工学府教授)
関根 正人(早稲田大学理工学術院教授)
高橋 章浩(東京工業大学大学院教授)
服部 敦(国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究室長)
4. 議事概要:
 - ・第一回委員会では、現時点での調査結果から分かったことについて、事務局から説明してもらい、堤防決壊の原因について議論した。
 - ・越水による川裏の洗掘が決壊原因の一つであると推定される。
 - ・浸透については、堤体の一部を構成する砂質土が原因となるパイピングや法すべりの可能性も排除できないと考えられるため、引き続き、堤体や基礎地盤の詳細な調査や検討を事務局にお願いした。
 - ・侵食については、川表の侵食が確認されておらず、決壊原因の一つである可能性は小さいと推定される。
 - ・引き続き、全川に渡る調査や決壊のプロセスについて、資料の整理をお願いした。
 - ・次回は、これらの点を明らかにしたうえで、決壊の原因をまとめ、復旧工法についても議論を進めたいと考えている。